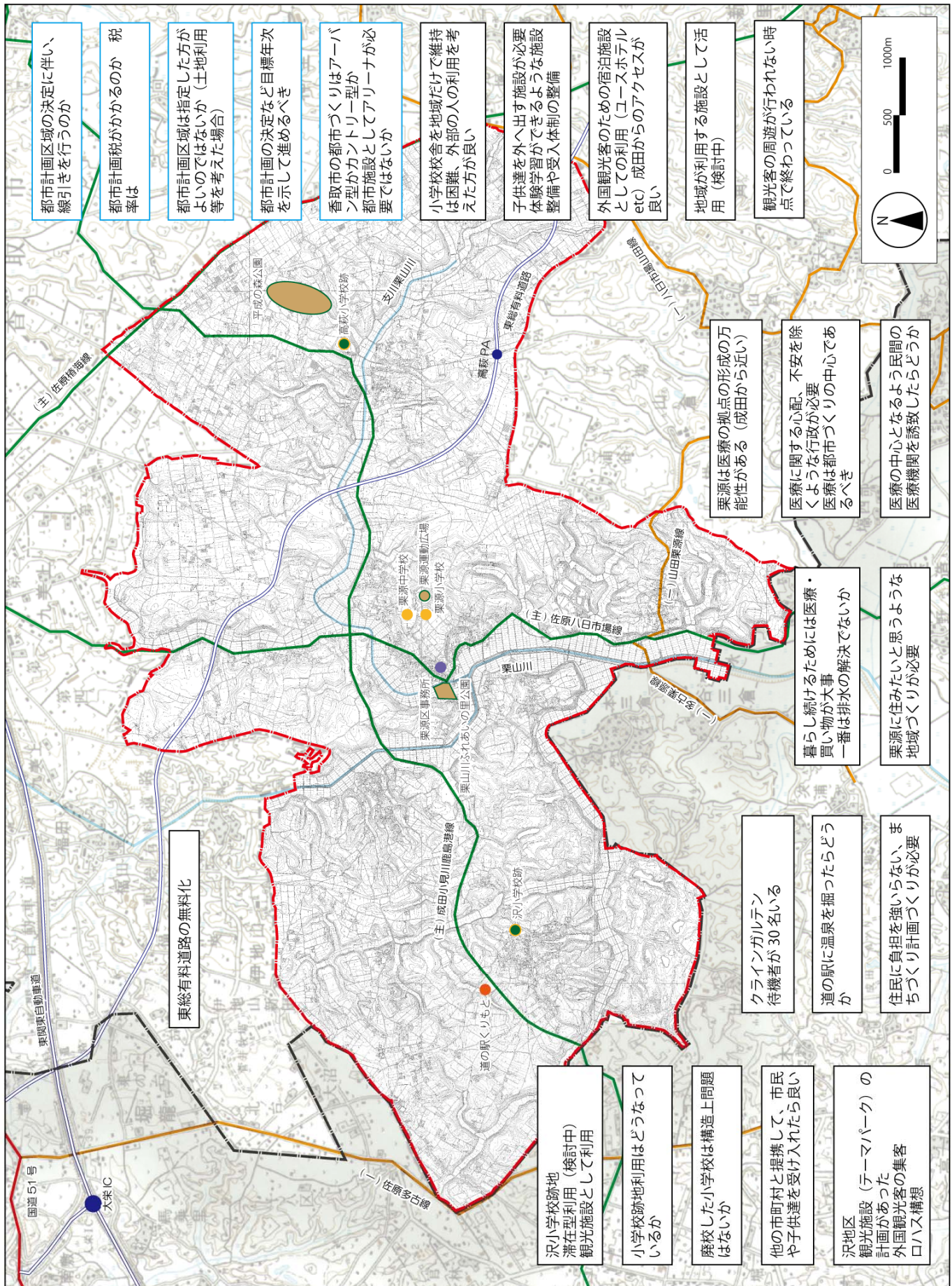


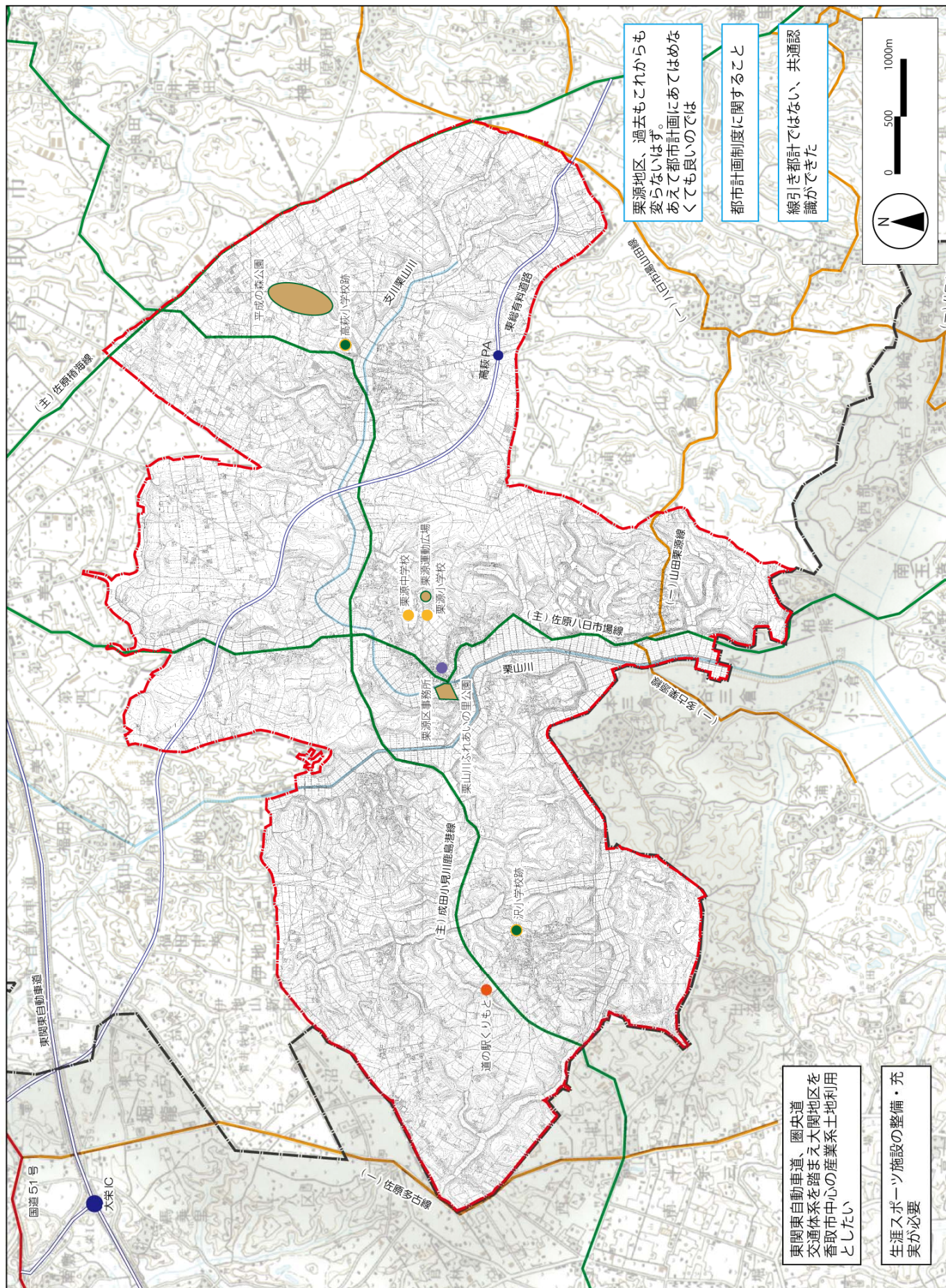
香取市都市計画マスタープラン 都市計画制度についての意見交換会（栗源区） 意 見 概 要	
日 時	平成 21 年 10 月 8 日（水）18 時 30 分～21 時 00 分
場 所	栗源公民館
出席者	香取市役所 菅井建設部長、黒田都市計画課長、福水副参事 木内班長、宇井主査、澁谷まちづくり課長、紀伊元都市 建設班長 (株)オオバ 益永計画部長、伴係長
参加人数	20 名
会議次第	1. 開 会 2. あいさつ 3. 意見交換会の進め方 4. 班別意見交換会 ①区の現況と課題及び将来について ②都市計画について 5. 全体会 ①班別意見交換の概要報告 ②意見交換 6. 閉会
配布資料	栗源区の現況と課題について及び都市計画区域について

意見交換会 の概要	- 参加者を 2 班に分け、班ごとに、区の現況と課題及び都市計画区域についての説明を行い、意見交換を行った。 - その後、全体で、班ごとの意見概要を確認した。
【主な意見】	
A 班	[まちづくりについて] - 小学校校舎（高荻小学校跡）を地域だけで維持することは困難であり、外部の人の利用を考えた方が良い - 子供達を外へ出す施設が必要である。 - 体験学習ができるような施設整備や受入体制の整備も考えられる。 - 成田からのアクセスが良い。外国人観光客のための宿泊施設としての利用（ユースホテル etc） - 地域が利用する施設として活用（検討中）も考えられる。 - 沢小学校跡地は、滞在型利用を検討中である。 - 観光施設として利用も考えられる。 - 廃校した小学校は、構造上の問題も検討する必要がある。

	・沢地区では、観光施設（テーマパーク）の計画があった。外国人観光客の集客を考えていくこともよいのでは。（ロハス構想など） ・栗源は医療の拠点の形成の万能性がある（成田から近い） ・クライנגルテンには待機者が 30 名いる。 ・道の駅に温泉を掘ったらどうか。 ・東総有料道路を無料化して欲しい ・他の市町村と提携して、市民や子供達を受け入れたら良い ・暮らし続けるためには医療・買い物が大事である。 ・一番は排水の解決でないかと思う。 ・栗源に住みたいと思うような地域づくりが必要 ・医療に関する心配、不安を除くような行政が必要である。医療は都市づくりの中心であるべきであり、医療の中心となるよう民間の医療機関を誘致したらどうか。 ・住民に負担を強いらぬ、まちづくり計画づくりが必要 ・観光客の周遊が行われない時点で終わっている [都市計画区域について] ・都市計画区域の決定に伴い、線引きを行うのか。都市計画税がかかるのか、その場合の税率は。 ・都市計画区域は指定した方がよいのではないか。（土地利用等を考えた場合） ・都市計画の決定など目標年次を示して進めるべき ・香取市の都市づくりはアーバン型かカントリー型か。 ・都市施設としてアリーナが必要ではないか
B 班	[まちづくりについて] ・生涯スポーツ施設の整備・充実が必要である。 ・交通体系を踏まえ大関地区を香取市中心の産業系土地利用としたい [都市計画区域について] ・栗源地区、過去もこれからも変わらないはず。あえて都市計画にあてはめなくても良いのでは。線引き制度は必要ない。 ※線引き制度を導入し、市街化調整区域になるとの誤解があったが、線引き制度の導入ではないことを理解していただいた。



栗源区 B班 意見概要



都市計画制度意見交換会（栗源区） H21.10.8



